

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

まだまだ暑いと言いながらも、もう九月。そしてこの時期になると、夏のダメージで肌の調子が悪くなる方が増えてきます。季節の変わり目のお肌は不安定になりますから、デリケートな秋肌に正しいお手入れを。

夏から秋は ゆらぎ肌の季節

四季の豊かな日本。しかし、北と南では気温も差がありますし、八月で夏は終わり、九月だからもう秋、というものではありませんね。昨日は涼しくて過ごし易かったのに、今日は真夏のような暑さ、等という事も多い今の時期。この時期は、体調を崩しやすく、



肌も混乱して調子が悪くなりがち。こうした季節の変わり目に、デリケートになって揺らいでしまう「ゆらぎ肌」が、今の季節、お肌のお悩みのお大きな原因です。

夏ダメージは この時期に出る

くすみやクマが気になる、かゆみや赤味がある、等のゆらぎ肌症状に

加えて、今の時期は夏のダメージの影響で、肌がカサつきやゴワつきも表れて来る季節です。

たっぷりの水分補給で、まずはお肌の水分量を増やし、弾力を取り戻すお手入れから始めましょう。

お肌も少しづつ 秋の準備を

気温や体調の変化と共に、不安定なゆらぎ肌・夏のダメージが出、更にこれからの季節は徐々に汗や皮脂の分泌も減ってきます。

秋から冬に向けての乾燥対策としても、今の季節の丁寧なお手入れは非常に重要です。

夏のダメージを回復して、デリケートなゆらぎ肌を落ち着かせ、秋から冬に向かつてのお肌のコンディションを整えましょう。

夏から秋へ

ゆらぐお肌のお手入れ

夏から秋への移り変わりは、いつの間にか、気付いたらもう秋、と言う様に移って行きます。

朝夕、ちよつと一枚何か羽織るものを、と思つたら、お手入れも潤い補給を心掛け、秋の準備を始めましょう。

この時期の肌ストレス

夏の疲れが溜まっている所に加え、気温の変化で体調も不安定になりがちなのこの時期。

汗や皮脂の分量が少しずつ減り、乾燥しやすくなってバリア機能も低下してしまい、外部からの刺激に敏感になります。

紫外線もまだまだ強く、結果、色々な肌トラブルが増えて来ます。

秋肌のお手入れ

まずは潤いケアから

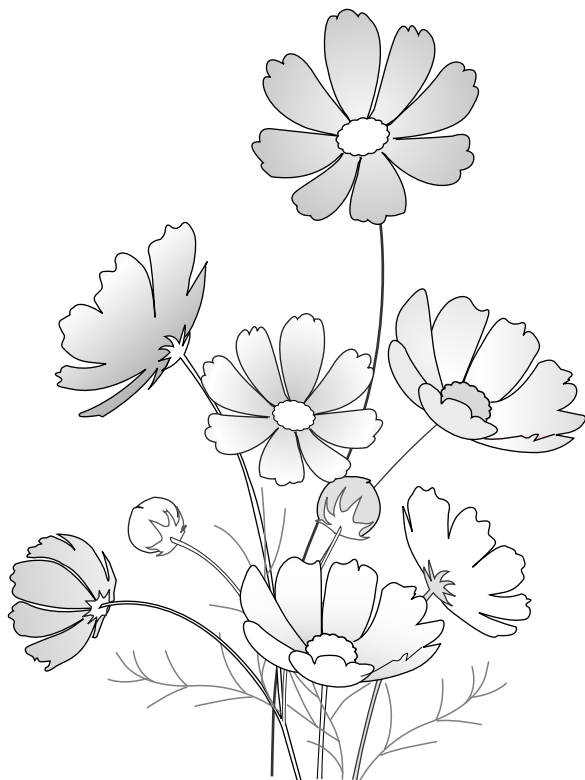
この時期の、夏のダメージと秋のゆらぎ肌のお手入れに重要なものはやはり、まずは潤いケアから。潤いをキープする事で、お肌は外部からの刺激を遮断して、かゆみや赤味等のゆらぎ肌を落ち着かせてくれますから、まず肌を落ち着かせ、冬の乾燥に備えましょう。

刺激を避けて

優しくソフト洗顔

お手入れのスタートはまず洗顔。しかし実は、洗顔の刺激が原因で肌トラブルになる事も多いもの。肌を刺激せず、すぎを入念に優しく泡洗顔が基本です。

肌荒れがひどく、赤味が出ている場合には、洗顔代わりに、たっぷりのホホバで優しくマッサージした後、蒸しタオルで拭き取ると

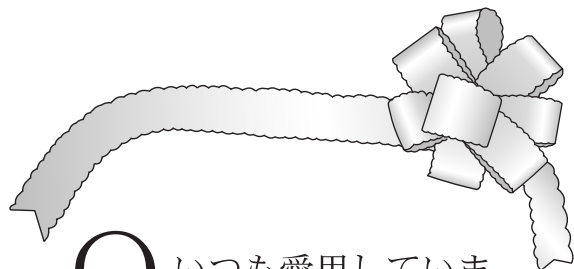


良いでしょう。その場合、こすらずにそっと拭き取る事が重要です。

秋の保湿が冬のお肌を決める

夏の間は、汗や皮脂でベタつきが気になり、つつい保湿のお手入れは怠りがち。

しかし、ベタつきが気にならなくなる頃には、肌はすっかり乾燥して、冬に悪化してしまいます。



Q いつも愛用しています。品が切れると困るので、まとめ買いをしているのですが、保管する際、どこに置いておくと良いのでしょうか。

(今は、洗面所の下の棚に、まとめてストックしてあります)



A 安定性の高いホホバは、温度変化に耐性があり、変質しにくいという特製がありますから、温度が高い低いはさほど気にせずとも良いでしょう。

洗面所で大丈夫です。

しかし直射日光は色素が抜けてしまったり、開封後はお風呂場等の湿気の多い場所では、空気中からも雑菌が入り易いので避けてください。

長期保存には、他のお化粧品同様、高温多湿を避け、冷暗所で保管してください。



今の季節からは、朝のお手入れにもきちんと水分補給↓保湿してからメイクや日焼け止めを使い、お休み前のお手入れには、もちろん、たっぷりのホホバで保湿のお手入れを。

紫外線A波は秋も降り注ぐ

まだまだ強い日差し、紫外線対策はしっかり出来ていますか？

これから、日差しは少しずつ弱まっても、光老化の原因となる紫外線A波は、変わらず降り注いでいます。

毎朝のお手入れの仕上げには日焼け止めを忘れず、生活紫外線を防ぎましょう。